

利便性向上等のための投資について

2024年6月20日
あいの風とやま鉄道株

2023年度の経営安定基金補助金（運営費分）の未使用分61百万円は、2025年度以降に予定している521系車両の「中間車両」整備の財源として有効に活用させていただきたい。

521系車両の「中間車両」新造について

県内を東西に走る幹線鉄道である当社線について、①エネルギー消費量やCO2排出量の削減、②輸送需要に応じた効率的な車両運用、③輸送力の増強と地域交通ネットワーク機能の強化を実現するため、現在2両編成で運用している521系車両の一部を3両編成で運行する計画を進めており、このために必要な「中間車両」を新造する。

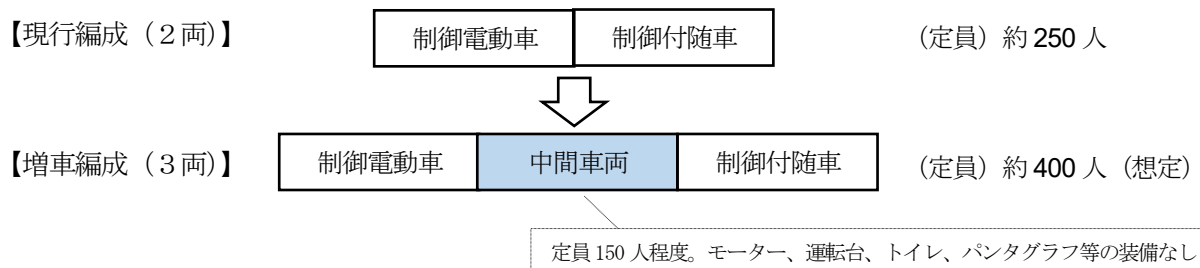
なお、中間車両の整備は、従来どおり521系車両を新造する場合と比較すると、小さな投資額で十分な投資効果がある。（モーターや運転台などの装備が不要で、より多くの定員を確保。）

1. 車両の現状

区分	現在運用中の車両数	備考
521系（新型車両） ・定員 約250人	2両／編成×2編成＝4両 （開業後に6編成新造）	通勤・通学時間帯等では連結して4両で運行（定員約500人）。
413系（旧型車両） ・定員 約360人	3両／編成×1編成＝3両 ※観光列車を除く	老朽化が進み部品調達が困難となっているため、今後長期間の運用は困難。

2. 「中間車両」の新造について

(1) 521系車両3両編成のイメージ



(2) 車両整備スケジュール

2023年度	技術的な課題や財源の検討など	2023年6月22日の利用促進協議会でご説明し、ご了承いただきました。
2024年度	車体・台車の設計、モニター装置のソフト改修など ・所要経費：約200百万円 ・財源（予定）：2022年度基金補助金の未使用分の一部199百万円を活用。	
2025年度以降	中間車両を3両製造（具体的な製造スケジュール検討中） ・概算経費：調整中 ・財源（案）：国庫補助（補助率1/3）の活用を予定。補助金以外の財源は自己資金での対応なども含め検討しているが、一部に 2023年度基金補助金の未使用分61百万円 を活用させていただきたい。	